

令和 6 年度
事業報告

総 括

＊令和６年度は、新型コロナウイルス感染症前の本来の生活を取り戻すことができました。支援として利用者が安心して、何より楽しく過ごせるようにサービス提供を行ってきました。その一方で、経済状況では円安による食料品、日用品、光熱水費等の物価高騰が避けられず、物価高騰対策助成金はありませんでしたが、法人経営に影響が生まれました。

法人の動きとして、近年色々な地域で災害が起こっていることを踏まえ、本部拠点地の網干興浜地区からの移転計画の取組を行いました。本部拠点での建物老朽化問題、安全面を考え、災害が起きても被害の少ないとされている区域で事業展開ができるよう行政に相談を重ねながら進めました。本部拠点となる物件探しから始め、姫路市西部、中心部の２件の物件見学を行い検討しましたが、消防関連による条件、費用面の条件が合わずこれらの物件においては断念をしたところです。しかし事前計画として、姫路市の４月以降のサービス種別（就労継続支援Ｂ型）による総量規制も考慮し、日中活動事業所 ぬかちゃん福祉作業所から、ぬかちゃん手柄作業所への就労継続支援Ｂ型の利用者異動を行い、手柄作業所の定員が増員となるよう、４月以降の各事業所の定員変更の申請を行いました。将来的には手柄作業所、そして新しい拠点場所で運営ができるように、法人として今後本格的に取り組んでいきます。

利用者支援においては、高齢化、重度化そして身体機能の低下によって、今まで以上に日常生活での健康管理の必要性を感じた１年でした。年々怪我、病気のリスクが高まってきている利用者も増加しています。６５歳問題は勿論ですが、それより以前に利用者自身の障害に伴う老化が早まってきており、施設内、グループホーム内においても個人の障害に応じた支援力が求められました。また利用者だけでなく、その背景の高齢になられた家族の方への支援も増加してきました。これらの状況に対応できる職員資質も求められており、職員育成は各事業所として今後も継続して取り組んでいかなければいけない大きな課題となりました。

あらゆる課題はありますが、令和６年度も法人理念、基本方針に沿って利用者本位、そして利用者に喜んで頂けるサービス提供ができました。

事業運営

●第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業

- ・ぬかちゃん福祉作業所（生活介護、就労継続支援 B 型）運営
- ・ぬかちゃん手柄作業所（生活介護、就労継続支援 B 型）運営
- ・ケアホームきらめ樹・かがや樹（共同生活援助）運営

●収益事業

- ・太陽光発電売電事業「ケアホームきらめ樹・かがや樹」

経営組織の強化、安定した経営

令和 6 年度は、評議員並びに評議員選任解任委員の改選にあたり、理事会、評議員会、評議員選任解任委員会を開催し適正に選任し、全員再任となり、引き続いて安定した法人運営の執行体制が築くことができました。

第 2 種社会福祉事業として、職員処遇改善として待遇改善に引き続き努めました。諸物価高騰の影響、そして経年劣化による物品修繕等もありますが、職員に対してコスト削減の意識付けを強化しました。サービスの質向上に努め、令和 6 年度の通所率は全事業所が 95%以上となり、給付費収入が法人全体で前年比較、約 897 万円増となりました。

利用者支援

法人理念、基本方針に基づき利用者本位のサービス提供を行い、安心、安全、生きやすさをモットーに利用者支援の取組を継続しました。これらを全職員の共通認識とし、毎日の朝礼で確認を重ね、自分本位の思いとならないよう、そして思いがぶれることないように職員への意識付けを継続させました。

入退所者状況は、4 月（生活介護 1 名、就労継続支援 B 型 1 名）10 月（就労継続支援 B 型 1 名）に手柄作業所へ新規利用者の受入を 3 名行いました。

利用者支援の基本となる個別支援計画作成にあたり、利用者、家族の方等の意向を反映する面談も実施し、家族の意向も十分汲み取り、コミュニケーションもとることができ、利用者主体の個別支援計画の作成ができました。令和 6 年度から個別支援計画の規程遵守が厳格化されていることも踏まえ、作成にあたり不明点があれば都度、行政にも確認を行いました。また、利用者自身の状況変化があれば本人、家族、後見人、相談支援事業所と連携をとりながら都度見直しを行って、現状に沿った支援に結び付くようにしました。

令和 6 年度も各種行事を積極的に行い、各事業所合同の施設行事として春祭り、運動会、クリスマス会等の行事を事業所全体で実施しました。家族参加も継続して可能にし

て、家族同士の交流の場を設けました。継続することによって、家族参加者数も年々増加してきており、家族の良い交流の場にもなっています。また、散策、山登り、ウォーキングなど体を動かす機会を増やしながら、映画鑑賞、ランチ、ティータイム、いちご狩り、芋ほり、新年会、ボウリング、ホテルでのバーベキュー等の娯楽行事を希望に応じて行いました。行事の楽しみはもちろん、その準備段階からも利用者自身が楽しんで、行事を利用者主体で楽しむことができる良い結果となっています。施設内外でのエクササイズ、筋力トレーニングにも力をいれて、マンネリ化しないように継続させました。クラブ活動で「スポーツチャンバラ」の活動は近隣の公民館、体育館を利用して継続しました。体を動かす、楽しむだけでなく、外出することによって社会人のマナー習得もできるようになって、将来の生活にもプラスに繋がってきています。また、これらの活動を通じ、利用者、職員との信頼関係も深めることが出来、結果良い支援にも繋がりました。また、専門に特化した理学療法士に各事業所へ年2回訪問していただき、利用者個人に合わせた体操、体の動かし方、そして機能訓練に関するアドバイスをいただきながら現場での支援技術、知識習得に努めました。実施後、検証を含めた職員研修を行い情報共有もすることが出来、全職員の資質向上となりました。

また創作活動や、指先、視覚を使うトレーニングを実施し、楽しみながらも自分自身で出来る領域を広げる目的をもって取組をしました。創作活動による作品は各自で持って帰っていただき、ご家族の方からも好評を得ており、それらも創作活動の楽しみの一つになっています。

作業の取引業者への配達に利用者が同行することもあり、マナー習得だけでなく、毎日行っている作業への達成感が得られています。

健康管理

毎月1回、嘱託医、看護師に各事業所に来訪していただき健康相談を行いました。健康維持として、日々の状態、食事摂取量、必要な方は排せつチェックを行い小さな異変でも職員同士で状態を共有し、嘱託医に相談を行い早めの対応に繋げることができました。食事提供に関しては、全事業所で咀嚼の注意が必要な方も増えてきており、そのような利用者には、事業所内で十分注意しながらも、楽しい食事ができるようにしました。

感染症予防対策として、手洗い、アルコールによる消毒は習慣となっており継続させました。希望者には、インフルエンザワクチン接種を嘱託医のもと11月に実施しました。

グループホームにおいては、地域のクリニックから月1回訪問診療に来ていただき、現在ホーム内で2名の方が利用しています。また毎月1回（原則）訪問歯科にも来ていただき、口腔状態確認、ブラッシング、初期治療等を行い、年々利用される方も増加してきています。訪問看護利用の場合は連携を取りながら、利用者の薬の調整などを行ってもらい、適切な服薬に努めています。更に必要な方については、病院の

付き添いや医師への進言も行っています。

職員健康管理については、年 1 回の健康診断以外に正規職員希望者に対し人間ドッグ受診を実施しました。職員の福利厚生面の向上に繋がりました。

透明性の向上

利用者、利用者の家族等、外部の方々の安心、信頼を崩さないよう全事業所が閉鎖的にならないよう、透明性の維持向上に努めました。ご家族等にも見やすいように、ホームページ、SNS の発信を適宜行い情報が常に新しいものとなるようにしました。どの事業所も、安全面に考慮しながらもいつでも来訪できるようにしました。法で定められている、定款や財務諸表等の公表、施設での活動の情報提供にも適正に努めています。

また、職員に対し虐待防止に向けた意識付を徹底させ、虐待防止委員会、研修を開催し、全職員への意識付けの周知を行いました。

生産活動

作業収入は前年比較で、全体で約 190 万円減となりました。

紹介いただいたことで取引先の増となりましたが、従来中心となっていた取引先からの作業が激減してしまい、大幅な収入減となってしまいました。単価交渉を行い単価の見直し、企業への営業活動も行いましたが収入増には至りませんでした。

厳しい状況の中でも、事業所間で連携をとりながら双方の作業確保に努め、急な作業納期、依頼であっても、協力しながら業者からの信頼を失わないよう確実な作業を継続して行ってきました。障害程度に応じて、受注作業が途切れることなく潤沢にいただけるよう、そして新規開発をすることが今後の課題となっています。

* 令和 6 年度の月額平均利用者工賃

「ぬかちゃん福祉作業所」 就労継続支援 B 型「19,422 円」

「ぬかちゃん手柄作業所」 就労継続支援 B 型「14,859 円」

* 前年度比較

「ぬかちゃん福祉作業所」▲¥1,598 「ぬかちゃん手柄作業所」▲¥1,251
となりました。

設 備

ぬかちゃん福祉作業所で、1 階作業室の蛍光灯の LED 化を行い、省電力化対策を行いました。作業室のエアコン修理を行いました。

グループホームでは感知器取替を実施しました。年 2 回の業者による点検は実施して

いますが、8月に居室の一室と脱衣場の自動火災報知器が不具合により誤作動し、消防署が出動してしまうことがありました。近隣住民の方にもご迷惑をおかけしてしまい、丁重に謝罪説明をしています。今後このようなことが再度起きないように、設備面では一層点検をして、修理、取替をする必要性があれば早期に対応を行っていきます。

全事業所内での不具合はその都度修理し、常に安全に使用できる状態にしています。月初点検を十分行い、危険なところがあればすぐに修理修繕を行いました。

人事管理

職員の勤務条件等、個人の状況に応じて適正に月額給与改善、手当の支給を行いました。職場環境改善についても、有給休暇が十分取得できるよう、また、個人の諸事情による希望にできるだけ沿って、働きやすい職場となるようシフト調整を行いました。また、他産業からの転職者、未経験者でも入りやすいように幅広い採用に努めました。求人掲載は、ハローワークだけでなく、民間求人媒体の活用もしながら職員確保を行い、特に若年層に関心を持っていただけるように、媒体にも工夫を凝らしました。令和6年度は正規職員1名、非正規職員2名の採用に至り、4月からは、大学新卒者1名も決定しています。1月に1名が定年により退職しました。今後は若年層職員の採用が課題となっています。

職員の資質向上

中堅職員が指導を定期的に行い、全職員に積極的に研修受講ができるよう配慮し、前年度以上に外部研修、内部研修を実施しました。研修で学んだことを内部研修として全職員に伝えることで、自身の能力向上にも繋がりました。常に利用者に対して安心、安全な支援ができることをモットーに、日々尽力しました。また、毎日の朝礼を十分に活用しながら、些細な事項でも必ず報告、連絡、相談できる体制づくりに努めました。日常業務の見直し、工夫を随時行い、気づきがあれば、職員同士で意見を出しあって全職員が共通した支援ができるよう、継続して意識づけを行ってきました。また職員が、やりがい、働きがいをもって長期勤務できるよう、職員の能力に応じて配置、担当業務を細かく決め、自己肯定感が得られるようにも努め、離職率の低下に繋がりました。

財務管理

施設における会計処理等が適正に行われているか、コンサルティングの指導による確認業務を実施し、適正な会計処理、予算執行を行うことができました。

収益事業（太陽光発電売電事業）については、令和6年11月19日実施された姫路市実地指導監査の指摘事項で、太陽光発電売電事業の赤字補填として、社会福祉事業から貸付を行っている件で会計処理上に問題があるとの指摘がありました。今後は会計上の

修正をし、行政に修正後の報告を行い適正に処理を行っていきます。

非常時対策

全事業所で年2回の避難訓練、避難確保計画に基づく水防訓練、地震発生時を想定し、車輛を使った避難訓練を行いました。防犯訓練も実際起こった場合を想定して行いました。各訓練後には反省会、諸会議を行い職員の危機意識が高まるようにしました。

地域との連携

近隣の地域での公園清掃を定期的に行いました。定期的に行うことにより、地域の方とも触れ合うことが出来るようになり良い機会となっています。

7月から毎月第4月曜日に、近隣の児童発達支援事業所と共同でこども食堂を実施しました。約50名程度の子供から高齢の方の幅広い世代の方に来ていただき、良い交流の場となりました。無料の食事提供、生活の相談も行いながら、地域住民の交流ができ、子ども食堂の大きな成果が得ることができました。11月からは、地域の高校生ボランティアも受入して、障害福祉に対する理解が深まり、将来の福祉業界を担う人材育成にもなりました。資金面、人材面での課題はありましたが、施設と地域の繋がりができ、大きな成果となりました。

苦情報告

(ぬかちゃん福祉作業所)

- ・(利用者) 利用者同士のトラブルによる施設への要望 1件
- ・(地域住民) 送迎車輛運行に関して 1件

(ケアホームきらめ樹・かがや樹)

- ・(利用者) 職員に対して支援に関する要望 1件

(ぬかちゃん手柄作業所)

- ・(利用者家族) 送迎時間に関して 1件
- (利用者家族) 利用者の持ち物についての職員対応 1件

利用者の事故

- (ぬかちゃん福祉作業所) 0件
- (ケアホームきらめ樹・かがや樹) 0件
- (ぬかちゃん手柄作業所) 0件

ヒヤリハットを各事業所で連携し、都度検証しながら事故防止に努めました。

各種委員会、（内部）研修

（全事業所）

会議名	主宰者	開催月
朝礼	施設長	毎日実施
職員会議	施設長	毎月 1 回開催
給食会議	施設長	4 月
ケース会議	サービス管理責任者	年 1 回開催
感染症対策委員会	理事長、施設長 サービス管理責任者、担当者	年 4 回 6 月 9 月 12 月 3 月
感染症対策会議研修	全職員	4 月、7 月、10 月 11 月、1 月
虐待防止委員会	理事長、施設長 サービス管理責任者、担当者	6 月、9 月、3 月
虐待防止研修	全職員	4 月、10 月、1 月 3 月
身体拘束等適正化委員会	理事長、施設長 サービス管理責任者、担当者	7 月、9 月、3 月
身体拘束等適正会議	全職員	4 月、8 月、10 月
ハラスメント防止委員会	統括施設長、施設長 サービス管理責任者、担当者	9 月、3 月
ハラスメント防止研修	全職員	4 月、10 月
防災 火災避難、水防会議	防火管理者	10 月、3 月
防犯会議	施設長	4 月
BCP 研修（内部）	サービス管理責任者	4 月
強度行動障害研修（内部）	サービス管理責任者	6 月
フォローアップ研修（内部）	管理者	6 月
フォローアップ研修（内部）	サービス管理責任者	8 月
相談面接（基礎）研修（内部）	サービス管理責任者	8 月

会議名	主宰者	開催月
ファシリテーション研修（内部）	サービス管理責任者	9 月
事故対策研修（内部）	管理者	9 月
コミュニケーション研修（内部）	サービス管理責任者	10 月
災害 BCP 研修（内部）	サービス管理責任者	1 月
強度行動障害研修（内部）	管理者	3 月
相談面接技術研修（内部）	サービス管理責任者	3 月

施設外 OFF-JT（研修会への参加）

（別紙）

利用者状況

(令和7年3月31日現在)

*ぬかちゃん福祉作業所

(単位：人)

	定員	現員	男性	女性
生活介護	23	21	16	5
就労継続支援B型	17	17	11	6
計	40	38	27	11

*ぬかちゃん手柄作業所

(単位：人)

	定員	現員	男性	女性
生活介護	13	13	9	4
就労継続支援B型	12	11	6	5
計	25	24	15	9

*ケアホームきらめ樹・かがや樹

(単位：人)

	定員	現員	男性	女性
きらめ樹・かがや樹	20	20	12	8

＜利用者年齢＞

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

*ぬかちゃん福祉作業所

	生活介護		就労継続支援 B 型	
	男性	女性	男性	女性
10 代	0	0	0	0
20 代	5	3	4	1
30 代	7	1	0	1
40 代	2	1	4	1
50 代	2	0	3	3
60 代	0	0	0	0
合計	16	5	11	6

*ぬかちゃん手柄作業所

	生活介護		就労継続支援 B 型	
	男性	女性	男性	女性
10 代	2	0	1	0
20 代	5	3	5	2
30 代	2	1	0	1
40 代	0	0	0	1
50 代	0	0	0	0
60 代	0	0	1	0
合計	9	4	7	4

*ケアホームきら樹・かがや樹

	男性	女性
10 代	0	0
20 代	1	0
30 代	3	2
40 代	4	2
50 代	4	3
60 代	0	1
合計	12	8

<障害程度区分 生活介護・共同生活援助>

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

	ぬかちゃん福祉作業所		ぬかちゃん手柄作業所		ケアホーム きらめ樹・かがや樹	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
区分 6	2	1	0	2	1	1
区分 5	8	4	3	2	5	2
区分 4	5	0	5	0	1	2
区分 3	1	0	1	0	5	3
合計	16	5	9	4	12	8

<利用者出席率>

(令和 6 年度)

ぬかちゃん福祉作業所	ぬかちゃん手柄作業所
95.9%	96.1%

<利用者工賃平均月額>

就労継続支援 B 型事業

(令和 6 年度)

ぬかちゃん福祉作業所	ぬかちゃん手柄作業所
19,422 円	14,859 円

* 令和 5 年度 兵庫県 平均工賃月額 19,140 円